

# 北東アジア動向分析

## ●中国(東北三省)

### 東北三省の経済成長、消費が寄与

2019年上半期の東北三省の経済を概観するための資料として、吉林省から発表の資料が利用できないため、吉林省については、利用可能な第1四半期の経済データについて後段にまとめる。それ以外の二省について、2019年上半期の中国東北三省の域内付加価値生産額は名目値で、遼寧省が1兆2043.4億元、黒龍江省が6461.0億元である。同時点の実質付加価値生産成長率は、遼寧省が前年同期比5.8%、黒龍江省が同4.3%である。

工業生産の動向を示す一定規模以上工業企業(本業の売り上げ2000万元以上)の上半期の付加価値生産は、遼寧省、黒龍江省ともに絶対額が公表されておらず、増加率のみが示されている。1—6月期の一定規模以上工業企業生産額の遼寧省の前年同期比は7.2%、黒龍江省は同2.7%である。黒龍江省の工業生産の動態は、前年に比べて鈍化の傾向がみられる。

投資動向を示す固定資産投資総額の上半期の数値についても、遼寧省、黒龍江省の絶対額の数値は示されておらず、増加率のみが示されている。1—6月期の固定資産投資総額の前年同期比は遼寧省が5.2%の減少、黒龍江省が3.5%の増加を示している。遼寧省は工業生産付加価値の生産額では増加を示している一方で、固定資産投資は減少するという挙動を示している点特徴的である。固定資産投資は先行指標であることから、遼寧省の将来の需要が不透明であることを表したものと考えられる。

消費の動向を示す社会消費品小売総額の指標は、遼寧省では増加率と絶対額が、黒龍江省では増加率のみが公表されている。1—6月期の遼寧省の社会消費品小売総額は前年同期比6.0%増の7319.4億元であり、黒龍江省の値は同6.4%の増加を示している。遼寧省では投資の増加率が負値であったことから、付加価値生産の成長に対する消費の貢献が高かったこ

とが伺える。

貿易統計のデータについては、東北三省のいずれにおいてもドル建ての数値が公開されておらず、元建の数値であることから、2018年6月末為替レート(1ドル6.8747元)によりドル建てに直したものを掲載した。遼寧省の貿易総額は、489.1億ドルであり、そのうち輸出は211.4億ドル、輸入は277.6億ドルである。黒龍江省は、貿易総額が135.8億ドル、そのうち輸出が23.7億ドルで輸入が112.1億ドルである。遼寧省と黒龍江省のいずれにおいても、貿易収支が赤字を継続しており、貿易黒字の付加価値生産に対する貢献はないことを示している。

消費者物価を示す指標である居民消費価格の2019年上半期の指数は、遼寧省が1.6%上昇、黒龍江省が2.0%の上昇を示している。いずれも付加価値生産の上昇率と比して安定した物価動向であることを示している。

吉林省の第1四半期の経済指標を概観すると、名目の域内付加価値生産総額は2701.8億元で、実質付加価値成長率は2.4%である。第1四半期の数値のみを比較しても2015年の5.8%、2016年の6.2%から、2017年の5.9%、2018年の2.2%と2019年の付加価値生産成長率は吉林省の数値と比較しても高い値ではない。一定規模以上企業の工業生産付加価値額、固定資産投資額と社会消費品小売総額は、いずれも絶対額が示されておらず増加率のみが示され、それぞれ前年同期

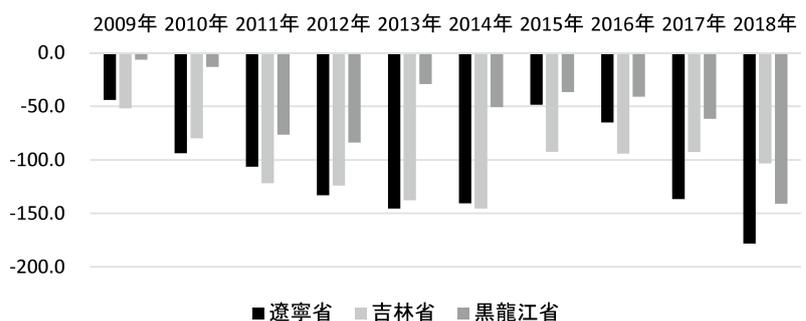
比、1.5%増、0.8%増、3.6%増である。対外貿易については、2019年3月末の為替レート(6.7335)により1—3月期の貿易の指標をドル建てに計算しなおした数値を掲載する。貿易総額は44.4億ドルで、そのうち輸出が12.0億ドル、輸入が32.4億ドルである。また、吉林省第1四半期の居民消費価格指数は、前年同期比1.7%であった。

これらのことから、同期間の吉林省経済は全体的に経済活動が活発ではなく、付加価値生産も全国の第1四半期値6.4%を大きく下回っている。また、東北地方の他の2省と同様に貿易収支が赤字であることから、対外経済要因も付加価値生産に貢献していないことを示している。

### 中国東北地方、対外経済貢献せず

中国上半期の経済指標(吉林省は第1四半期)をみると、東北地方の経済成長は全国の成長と比して立ち遅れていることが見てとれる。特に吉林省は、2018年から経済成長率が急速に落ち込んでいる。それぞれの省における付加価値生産に対する消費の貢献については、一定程度認められる一方で、対外的な要因の付加価値生産に対する貢献は、いずれの省でも見られない。図は東北三省の各省における貿易収支の推移を示したものであるが、2009年以降いずれの地域も負値で推移している。米中の通商摩擦の効果を評価するにはデータが乏しいが、2017年と2018年データでは、遼寧省、黒龍江省の貿易赤字が急速に増加していることが見てとれる。一

東北三省の貿易収支(単位: 億ドル)



方で吉林省の貿易赤字額は、この間ほぼ横ばいであることは興味深い。米中通商摩擦の地域ごとの効果は、対米貿易依存

度やグローバルサプライチェーンに対する重要度などにも左右される。今後、データの蓄積とともに地域別の通商摩擦の効果を

捕捉することも重要であると考え。

ERINA 調査研究部研究員

南川高範

		2015年				2016年				2017年				2018年上半期			
		中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江
経済成長率(実質)	%	6.7	▲2.5	6.9	6.1	6.9	4.2	5.3	6.4	6.6	5.7	4.5	4.7	6.3	5.8	2.3	4.3
工業生産伸び率(付加価値額)	%	6.0	▲15.2	6.3	2.0	6.4	4.4	5.5	2.7	6.2	9.8	5.0	3.0	6.0	7.2	1.5	2.7
固定資産投資伸び率(名目)	%	7.9	▲63.5	10.1	5.5	7.0	0.1	1.4	6.2	5.9	3.7	1.6	▲4.7	5.8	▲5.2	0.8	3.5
社会消費品小売額伸び率(名目)	%	10.4	4.9	9.9	10.0	10.2	2.9	7.5	8.3	9.0	6.7	4.8	6.3	8.4	6.0	3.6	6.4
輸出入収支	億ドル	5,099.6	▲3.9	▲662.1	▲64.5	4,225.4	▲96.5	▲96.8	▲85.3	3,517.7	▲178.2	▲103.5	▲140.9	509.8	▲66.2	▲20.4	▲88.4
輸出伸び率	%	▲6.1	▲15.3	▲3.0	▲37.2	7.9	4.3	5.5	2.0	9.9	17.4	6.3	▲8.7	▲0.1	0.4	10.1	22.9
輸入伸び率	%	3.1	▲4.0	6.0	▲11.4	15.9	25.4	▲1.0	18.9	15.8	20.2	9.7	65.3	▲4.2	▲5.7	▲13.7	-

(注)前年同期比

工業生産は、一定規模以上の工業企業のみを対象とする。一定規模以上の工業企業の最低基準は2,000万元である。

固定資産投資は500万元以上の投資プロジェクトを統計の対象とし、農家を含まない。

※2019年上半期の吉林省のデータは、データの制約から第1四半期(1-3月まで)の値である。

2019年上半期の東北三省に関する貿易データは、公表値が元建てであったことから、輸出、輸入の伸び率は公表されている元建て数値の伸び率、貿易収支は、元建て貿易収支の数値を外貨管理局公表の2018年6月末の為替レート(6.8747)、吉林省h3月末の為替レート(6.7335)によりドル建てに修正したものである。

(出所)中国国家统计局、遼寧省統計局、吉林省人民政府、黒龍江省統計局公表の資料より作成